

令和7年度 事業計画

自 令和7年 4月 1日
至 令和8年 3月31日

令和7年度事業計画

自 令和7年 4月 1日

至 令和8年 3月31日

I 基本方針

令和7年度は、指定管理者として、あづま総合運動公園、福島空港公園及び逢瀬公園・福島県総合緑化センターについては第5期の、福島市民家園については第4期のそれぞれ2年度の管理運営に当たり、公園の役割や利用者ニーズ等を捉え、各公園等の安全・安心で適正な管理運営に努めるとともに、スポーツ・レクリエーションの普及指導、緑化の推進など、さらなる県民サービスの向上に効率的に取り組んでいく。

あづま総合運動公園においては、東京オリンピックパラリンピックレガシー事業として、新たにあづま球場を活用した「バックヤードガイド事業」を実施するほか、「あづま夕焼けパークマラソン」に取り組む。また、園内のジョギングコース等を使用して「公園ラン&ウォークステーション」も新たに組み込むとともに、庭球場、とうほう・みんなのスタジアムの照明設備の適時適切な運用など、利便性向上にも配慮しながら、県民のスポーツ活動を通じた健康増進やコミュニティの創造に向けて幅広く取り組む。

また、誰もが楽しく利用できる公園づくりについて考え、学ぶ、「みんなの公園づくりセミナー」を開催するほか、公園の花壇を開放し、利用者と一緒を作る「みんなの花壇」、また、公園の豊かな自然資源を活かした観察会、体験会を行う「公園道草探訪」に取り組む。イチョウ並木のライトアップイベント等を通して、さらなる利用者サービス向上事業に取り組み、公園の価値向上に取り組む。さらに、新たな取り組みとして、園内で発生した剪定枝、枯損木等の利活用を推進する「園内発生材等のリサイクル事業」を計画的に進める。

福島空港公園においては、昨年開催した「空港公園桜まつり」をはじめ、恒例となった「handmademarket ソライチ」などのイベントを開催し、地域の振興と賑わいを創出する。「空のみちウォーク」を協力団体と協働で開催するとともに、福島空港事務所の「空の日」イベントに合わせ「YOSAKOI祭り2025春・秋」を開催する。

さらに、みどりや自然にふれあう体験教室を開催し緑化の普及を推進するため「樹木ハカセになろう」や人気講座をクローズアップした「ハーブ教室」を新規事業として、これまでの「自然塾」、「みどりの楽校」などと併せて実施する。

逢瀬公園・福島県総合緑化センターにおいては、本来の植物園としての魅力を高めるため、今までハーブ講座と連動して行ってきた薬用植物園（ハーブ園）整備の強化に取り組む。

また、本館前の花壇に加え、公園の玄関口である西口駐車場大階段前に「おもてなし花壇」を設置し、来園者を季節の花々で出迎える「ウエルカムスポット」として充実を図る。

さらに、地域団体等との連携・サポート事業を強化するとともに、地域の子どもたちが当公園を身近に感じ、自然を体感できる「地域の小学校サポート事業」など、子どもたちへのサポートを継続し、地域に根ざした公園づくりを目指していく。

福島市民家園においては、日本の伝統行事を伝える季節毎の「年中行事」「体験行事」等を開催するほか、春・夏・秋に開催するまつりの実施、草花、山野草を活用した魅力的なビューポイントづくり、古民家の特性を活かす「囲炉裏体験」、民具を活用した「石臼珈琲のひと時」を行うなど、園の魅力ある資源を有効に活用し、安らぎや癒やしの場を提供する。

施設利用については、機能が十分発揮できるよう利用者と調整を図りながら公平・公正な貸出しに努める。

施設管理においては、利用者の安全・安心を最優先に考え、プロスポーツの試合会場としての利用も見据えて万全の管理体制を整える。特に、とうほう・みんなのスタジアムにおいては、ナイター照明の適切な維持管理と、J3 ホームスタジアムとしての良好な芝生グラウンドの維持管理を徹底する。あづま球場においては、大規模イベントや大会の開催に向けて適切な管理を行う。

また、あづま総合運動公園では、水素燃料電池システムと太陽光発電施設の維持管理を引き続き行うとともに、カーボンニュートラルの実現に向けた省エネルギー化をさらに推進する。

管理運営については、次の方針を柱として取り組むこととする。

- 1 指定管理者として「あづま総合運動公園」、「福島空港公園」、「逢瀬公園」、「福島県総合緑化センター」及び「福島市民家園」の維持管理・運営業務の効率的執行と利用者へのサービス向上及び地域貢献に努める。
 - 2 自主事業として、スポーツ、レクリエーション及びみどりに関するイベントや教室の充実に努める。
- * 以下、「あづま総合運動公園」を「あづま」、「福島空港公園」を「空港」、「逢瀬公園」を「逢瀬」、「福島県総合緑化センター」を「センター」、「福島市民家園」を「民家園」という。

II 事業概要

1 スポーツ・レクリエーションの普及指導及び体力の増進に関する事業

【公益目的事業】

(1) スポーツの普及指導事業

1) スポーツ教室

場 所	事 業 名	回 数
あづま	親子の運動教室	2回
	プロ選手とプレーしよう！ナイトサッカー教室	5回
	小学生一輪車教室	2回
	小学生初心者水泳教室	3期×6日
	ソフトテニスボトムアップクリニック	1回
	公園健康づくり教室	6期×5講座程度
	ワンポイント水泳教室	4回/月×9月 (7～9月除く)
	季節を楽しんで歩こう	9回
空 港	空港公園でヨーガ	4回
	ノルディックウォーキングで健康になろう	24回
逢 瀬、 センター	Park ノルディックウォーキングの体験会と大会の開催	体験会2回 大会1回
	Park ヨガ教室の開催	7回

2) スポーツ大会

場 所	事 業 名
あづま	あづま総合運動公園チーム対抗テニス大会
	あづま総合運動公園杯マスターズテニス大会
	あづまカップパークゴルフ大会
	Me & You サッカーフェスティバル
	全国小学生陸上競技交流大会県選考会

場 所	事 業 名
あづま	ミニバスケットボールチビっ子フェスティバル
	あづま夕焼けパークマラソン2025
	歩こう秋のふくしま あづまの郷ウォーク2025
	あづま荒川クロスカントリー大会
	あづま総合運動公園庭球場オープン記念ダブルステニス大会
空 港	福島空港公園杯少年フットサル大会
	須賀川市大東地区球技大会（グラウンドゴルフの部）
	福島空港公園杯グラウンド・ゴルフ大会
	福島空港公園杯8人制ジュニアサッカーフェスティバル
	福島空港公園杯秋季選抜ジュニアシングルステニス大会
逢 瀬、 センター	Park ノルディックウォーキングの体験会と大会の開催（再掲）

3) ニュースポーツ普及指導事業

① 体験会の実施

ボッチャなど（あづま）

② 器具貸出の実施

園内でのニュースポーツ活動、地域住民活動（育成会、祭り等）への器具の無料貸出（あづま）

4) 他団体連携によるスポーツ普及指導事業

スポーツ関係のNPO法人等や各種競技団体などと協働で実施

① 各種スポーツ教室 ② シニアスポーツ相談室の運営（あづま）

③ クライミングウォールの講習会開催補助及び体験会（あづま）

5) 職員が有する能力及び資格を活用したスポーツ普及指導事業

公園資源や職員の持つ資格や技術を活用し、県民の健康づくりに寄与する事業の実施

① 水泳指導（あづま） ② アーチェリー指導

6) とうほう・みんなのスタジアムをホームとするプロスポーツへの支援事業（あづま）

チーム応援コーナーの設置など、とうほう・みんなのスタジアムをホームとする福島ユナイテッドFCを応援する環境づくり、事業支援に取り組み、スポーツの普及振興と地域活性化に寄与する。

(2) レクリエーションの普及指導事業

1) レクリエーション事業

場 所	事 業 名
あづま、空港、逢瀬、センター、民家園	公園フォトコンテスト
あづま	みどりの学び場
	子どもみどりの遊び場
	ボランティアとの協働による公園づくり
	公園の落ち葉プール
	あづまバラ愛好会の活動
	公園カルチャー教室
	バックヤードガイド事業（新規）
空 港	レザークラフト教室（新規）
	とんぼ玉づくりを楽しむ
	門松づくり体験
	花とみどりの講座
	自然塾
	空港公園で農体験
	桜を観る会
逢 瀬、センター	国蝶オオムラサキ観察舎、甲虫観察舎の管理における利活用促進
	未来を担う子どもたち向け事業のサポート
	野鳥とともに公園の豊かな自然を感じる企画
	公園で楽しむカルチャー教室
	ウォーキング・ランニングコースの維持管理
民家園	なぞときラリーM5
	囲炉裏体験
	探検シート
	だるま絵付け体験

2) 他団体連携によるレクリエーション普及指導事業

場 所	事 業 名
あづま	ボランティアとの協働による公園づくり (再掲)
	あづま Teshi-got 市場
	歩こう秋のふくしま あづまの郷ウォーク 2025 (再掲)
空 港	第 18 回空のみちウォーク 2025
	ノルディックウォーキングで健康になろう (再掲)
	空港公園でヨーガ (再掲)
	福島空港公園 handmademarket 「ソライチ」
	空港公園桜まつり
	空港公園で農体験 (再掲)
	ノルディックウォーキング空港公園大会
逢 瀬、 センター	安積アルプス出逢いプロジェクトサポート事業
	逢瀬さくらの里サポート事業
	地域の小学校サポート事業
	地域の環境美化への協力 (花いっぱい運動へ花苗寄付)
	地域団体等との連携・サポート事業 (感謝祭・秋等)
	野鳥とともに公園の豊かな自然を感じる企画 (再掲)
民家園	縁側の山野草展・即売会
	山野草めぐり体験民家園秋まつり
	春まつり山野草めぐり体験
	夜の民家園
	民家園ふれあいまつり

3) 地域連携によるレクリエーション普及指導事業

場 所	事 業 名
あづま	「中学ドリームアップ事業 (職場体験活動)」の生徒受け入れ (市内各中学校)
	緑と花のあふれるまちづくり連携事業 (再掲)
	ボランティアとの協働による公園づくり (再掲)
	あづまバラ愛好会の活動 (再掲)
空 港	花のおもてなし

場 所	事 業 名
空 港	YOSAKOI祭り2025春・秋
	空港公園桜まつり
逢 瀬、 センター	逢瀬公園春まつりの開催
	常連利用者との連携を密にした管理運営
	逢瀬公感謝祭・秋

4) サイクルスポーツ広場事業

変わり種自転車や一輪車（有料）、そり（無料）の貸出事業の実施、サイクル広場を活用したイベントの開催（あづま）

(3) 体力の増進事業

【あづま】

- 1) 軽運動室の無料開放の実施
- 2) 月会員サービス・半年会員サービス
 - ① 体育館・陸上競技場トレーニング室（一般、生徒等、シニア）
 - ② 体育館室内プール（一般、生徒等、シニア）
- 3) 初回限定月会員サービス
体育館トレーニング室（一般、生徒等、シニア）
- 4) 庭球場の夏季週末早朝営業
- 5) 公園ラン&ウォークステーションへの取り組み【新規】
- 6) トレーニング室、プール利用者へのクーポン配布

【あづま、空港】

- 7) 庭球場のポイント制度の実施

(4) その他の事業

1) 文化伝承事業

場 所	事 業 名
あづま	季節感を創出する伝統文化の展示
空 港	年中行事の展示（七夕、クリスマス、ひな祭り）
逢 瀬、 センター	季節の風物詩を公園に飾る取り組み （鯉のぼり・七夕飾り・ハロウィン飾り・クリスマス飾り、団子さし飾りなど）
	日本庭園の魅力を継承する取り組み（庭園の四季を発信）
民家園	小正月、節分等、季節ごとの年中行事や体験行事
	全国のだるま展示

場 所	事 業 名
民家園	お正月遊び体験
	民具体験
	ボランティアガイド事務局

2 都市公園並びにスポーツ・レクリエーション及び歴史・文化・自然に関わる施設の管理運営事業【公益目的事業】

(1) 指定管理施設

1) 指定管理者としての施設の維持管理業務

施設名	面積 (㎡)	維持管理施設
あづま総合運動公園	88.2	総合体育館ほか有料施設 11施設
		巨石広場ほか無料施設 10施設 (クライミングウォールを含む)
福島空港公園	52.1	庭球場ほか有料施設 4施設
		日本庭園ほか無料施設 9施設
逢瀬公園	17.3	桜の広場ほか無料施設 5施設
総合緑化センター	16.5	管理棟 1施設
		日本庭園ほか無料施設 17施設
福島市民家園	11.0	古民家 11施設
		展示館、管理棟、休憩棟 3施設

(2) 施設管理運営事業

【全公園共通】

1) 定期的な巡視

安全・安心な施設利用を提供するための定期的な巡視と異状があった際の適切な対応

2) 点検作業

適正な施設の維持管理の一貫としての体系化した点検作業、遊具の日常管理や保守点検の実施

3) 修繕計画

有資格職員による施設点検及び更新などの修繕計画の作成

4) 災害等の対応

来園者の安全確保や不法行為の防止及び災害等の不測の事態に備えるための避難誘導訓練や研修、普通救命講習などの実施

5) 放射線量測定

園内各施設の放射線量の定期的な測定及びホームページや掲示板への掲示による利用者への情報提供

6) 受動喫煙防止対策

子どもたちやタバコを吸わない人をタバコの煙から守るための受動喫煙防止対策の推進

【あづま】

7) 利用者へのサービス

公園内の季節の見どころに可動式ベンチを設置する。

8) 公園野良ネコの現状把握と対策

野良ネコの生息地や生息数を把握するため、一斉調査を計画的に実施し、また公園の捨て猫問題に取り組む関係者と、捨て猫の現状や里親さがしの状況について情報交換を行う。

9) 水素燃料電池保安管理・PR 業務

あづま総合運動公園では、水素エネルギー及び燃料電池システム導入による燃料電池保安管理・PR 事業を受託し施設の管理と PR 事業を行う。

①水素利活用発信 水素・燃料電池 PR 及び、遠隔監視業務

②水素設備点検 年次、法定点検業務

③各種点検及び燃料電池 PR . . . 日常点検、施設案内

10) 自然系素材の適正な維持管理

木材や竹などの自然系素材で加工された備品や施設について機能を発揮して維持していくために修繕や新設などを定期的に行う。

【空港】

11) 多様なお客様への配慮

舗装のバリアフリー化や点字ボード設置、車いすの貸し出しなどすべての人が利用しやすい環境を整える。

12) 福島広場の適切な管理

福島県を形取ったタイル舗装は起伏を伴う特徴があるため、日常点検による安全性の確保と景観の保持に努める。

13) 庭球場、フットサルコート of 整備

降雪時に早期に利用再開するための除雪を実施する。

【逢瀬・センター】

14) 利用者へのアンケート調査を行い利用者ニーズに応える

15) 当協会が管理運営を担う他公園との連携

16) ユニバーサル利用を意識した取り組み

【センター】

17) ウェルカムスポットの提供・管理

緑化センター本館前の花壇、大階段前のプランターを植物で彩り、利用者へのおもてなし花壇（ウェルカムスポット）として管理する。

【民家園】

18) 古民家等の適切な管理

古民家及び民俗資料を次世代に引き継いでいくため、適切に管理する。

(3) 緑地管理事業

【全公園共通】

- ① 各植物の特性に配慮した植栽管理
- ② 自然環境に配慮した植生管理、景観性に配慮した植栽管理

【あづま、空港、逢瀬、センター】

- ③ 生育状況や利用に応じた適切な芝生管理
- ④ 季節毎に楽しめる草花管理、自然美に配慮した下草管理、意匠性と自然美を合させた植栽管理
- ⑤ 樹木の枯れ枝などの早期発見、処理
- ⑥ マツクイムシ、カシノナガクイムシや外来生物の調査及び被害防止対策

【空港、逢瀬、センター】

- ⑦ 日本庭園において樹木の生態に合った剪定や雪吊りなど日本らしさ、郷土性、季節感の感じられる緑地管理

【あづま】

- ⑧ とうほう・みんなのスタジアムの芝グラウンドにおいてプロスポーツ利用に配慮した芝生補修

【空港】

- ⑨ 復興のシンボル「はるか」を植樹した福島広場の修景植栽地の適切な管理
- ⑩ 樹林地内園内散策路の保全や散策に支障をきたす下枝や枯れ枝の剪定などの日常管理

【逢瀬・センター】

- ⑪ 樹木の樹勢回復への取り組み
- ⑫ 樹木調査と樹木台帳及び樹名板の整備
- ⑬ ハーブ園を活用した企画

(4) 有料施設管理事業

【全公園共通】

- ① 施設の適正利用のための利用指導

【あづま、空港、センター】

- ② 有料公園施設等の適正な利用受付と貸出業務

【あづま、空港】

- ③ 有料施設の公平・公正な貸出を確保するための運営者会議、利用者会議の開催及び有料公園施設等の年間利用計画の策定

(5) 指定管理施設の利用者数（目標）

単位：人

公園名	R 3	R 4	R 5	R 6 (見込み)	R 7 (目標)
あづま	954,520	1,456,806	1,400,144	1,454,000	1,464,000
空 港	467,382	487,726	540,835	560,000	560,000
逢 瀬、 センター	176,871	222,707	182,127	182,000	182,000
福島市 民家園	48,145	58,666	55,438	47,000	47,000
合計	1,646,918	2,225,905	2,178,544	2,243,000	2,253,000

※R 3～R 5は実績、R 6は見込み。

※R 3、4年度の利用者数については、コロナ禍による特殊事情が影響している。

3 都市公園等に関する情報の収集、広報、調査研究及び利用促進並びに地域づくりに関する事業【公益目的事業】

(1) 都市公園等の情報収集事業

- ① 公園利用者への満足度アンケート調査の実施及び分析
- ② 公園管理運営に関する意見や苦情をホームページや意見箱などで収集
- ③ 大会開催時等に利用団体等から施設や運営についての情報収集
- ④ プロスポーツ・イベント等の誘致に関する調査
- ⑤ 他類似公園の管理運営情報の収集

(2) 都市公園等の広報事業

【全公園共通】

- ① マスメディアを活用した大会や自主事業開催などの広報活動
- ② スポーツ団体、学校、各種団体等への施設利用誘致活動の推進
- ③ 協会発行の広報誌配布による県民への情報提供と利用促進

- ④ ホームページで園内開花状況等の随時情報を提供するとともに、公園の魅力が伝わる撮影スポットをSNSで発信する。
- ⑤ 植物学習の場を提供するための植物名板の充実
- ⑥ 公園で開催される大会・イベント、公園に対する意見・要望への回答を園内掲示板へ掲示
- ⑦ 地域団体との協働による、観光・コンベンション事業への参画
- ⑧ 各施設の現況や大会、イベントの開催状況などの情報を充実させたホームページのきめ細やかな更新
- ⑨ 公園の四季の発信として、X（旧ツイッター）やインスタグラム等を活用したリアルタイムな情報の提供・交換

【あづま、逢瀬、センター、民家園】

- ⑩ 園内で見られる花図鑑の作成と花の見頃時期の掲示によるみどりの普及・啓発

【あづま】

- ⑪ ホームページで園内開花状況などの情報を随時提供するとともに、公園の魅力が伝わる撮影スポットやモデル利用をSNSで発信する。
- ⑫ 電光掲示板やデジタルサイネージ（電子看板）を活用したリアルタイムな情報提供

（３）都市公園等の調査研究事業

- ① 全国公園協議会等での情報収集と情報交換
- ② 福島県内４市及び県・公園等管理団体情報交換会の開催
- ③ 先進地公園等視察
- ④ 公園の新たなニーズについての情報収集・調査
- ⑤ みんなの公園づくりセミナーの開催

（４）都市公園等の利用促進事業

【全公園共通】

- ① 各種ボランティア団体との連携・協働と活動の場の提供
- ② 学校や幼稚園の遠足・見学等の随時受け入れ
- ③ 公園資源を活用したライトアップ及びイベントの開催

【あづま、空港、逢瀬、センター】

- ④ 公園での健康づくりをテーマとした取り組み
コース案内板設置等による、園内ウォーキング・ジョギングコースの充実

【あづま、空港】

- ⑤ 下記有料公園施設における「個人利用サービスデー」の実施
 - ア あづま総合運動公園（年４回）
プール、体育館トレーニング室、陸上競技場（トレーニング室含む。）、庭球場、サイクルスポーツ広場（次回利用クーポン券を進呈）
 - イ 福島空港公園（４月～１０月の月１回） ※お客様感謝デーとして実施
庭球場（感謝デーとして次回２時間無料券を進呈）

【空港、センター】

- ⑥ 日本庭園マツの雪吊りの美しさをSNS等で発信

【あづま】

- ⑦ イチョウ並木のライトアップに併せてイチョウ並木の賑わい創出事業を実施し、売店、BGMなど趣向を凝らし利用者へサービスを提供
- ⑧ 軽運動室の無料開放の継続、あづま絵本ぶんこの運営
- ⑨ 庭球場利用者へのサービス向上拡大を図る「夏季週末早朝営業」の実施
- ⑩ とうほう・みんなのスタジアムの芝グラウンドにおいて、プロスポーツ利用（3月～11月）に対応するため、芝生の養生管理
- ⑪ カルチャー教室や健康づくり教室の開催、シニアスポーツ相談室、スポーツ教室共催等、NPO法人あづまスポーツクラブの支援
- ⑫ ヤマユリ群生地を保全を図るとともに、アジサイ園、シャクナゲ園、バラ園の植物園としての適切な管理
- ⑬ バラの愛好者が集い、公園内のバラ園を活用して栽培技術などを学ぶ「あづまバラ愛好会」の活動を支援
- ⑭ 公園の特色を活かしたイベントを開催し、公園の四季を身近に感じていただくとともに、各種植物園（円形花壇、香りのバラ園、ヤマユリ園、アジサイ園）の魅力発信
- ⑮ 体育館トレーニング室、室内プール、陸上競技場トレーニング室の冬期間利用促進のため、ポイント制度実施

【空港】

- ⑯ 天然芝グラウンドの使用期間を延ばすための施肥・土壌改良材散布・エアレーション作業の実施
- ⑰ フットサルコート10時間利用で1時間の無料利用券の発行
- ⑱ 利用者の健康増進のための卓球台貸し出し

【逢瀬、センター】

- ⑲ 来園者のコミュニケーションの場となる飲食の提供
- ⑳ 高齢者施設等の福祉車両乗り入れ許可による利便性の向上

【センター】

- ㉑ 利活用促進を目的にした、各種植物苗や緑関連細工物の販売
- ㉒ 設置条例で休館日となっている第3日曜日の開館
- ㉓ サボテン園の魅力を伝える「サボテン園ガイドツアー」の開催
- ㉔ 公園内の植物名板、解説板の増設や新たな植栽による魅力アップへの取組

【民家園】

- ㉕ 古民家の風情や民具を活かした「囲炉裏体験」「石臼珈琲のひと時」などのイベント開催
- ㉖ 福島市小鳥の森との連携事業「野鳥を楽しもう」開催
- ㉗ 利用者へのサービス向上のための「にぎ和伊カフェむろいし」への支援

(5) 都市公園等の地域づくり事業

場 所	事 業 名
あづま	「中学生ドリームアップ事業（職場体験活動）」の生徒受け入れ（市内各中学校）（再掲）
	地域密着型プロスポーツへの支援事業
	ボランティアとの協働による公園づくり（再掲）
	あづまボランティアの活動（再掲）
	あづまバラ愛好会の活動（再掲）
	緑と花のあふれるまちづくり連携事業（再掲） みんなの花壇事業
	歩こう秋のふくしま あづまの郷ウォーク 2025（再掲）
	イチョウ光のプロムナード賑わい創出づくり
空 港	第 18 回空のみちウォーク 2025（再掲）
	YOSAKOI 祭り 2025 春・秋（再掲）
	第 4 回ノルディックウォーキング空港公園大会（再掲）
	空港公園ボランティア活動
逢 瀬、 センター	地域の環境美化への協力（花いっぱい運動へ花苗寄付） （再掲）
	逢瀬さくらの里サポート事業（再掲）
	安積アルプス出逢いプロジェクトサポート事業（再掲）
	地域の小学校サポート事業（再掲）
	地域団体等との連携・サポート事業（感謝祭・秋等）（再掲）
	未来を担う子ども向け教室支援事業（再掲）

4 緑化に関する普及指導、情報の収集及び調査研究に関する事業

【公益目的事業】

(1) 緑化推進の普及指導及び情報収集事業

1) 公園資源を活用した緑化推進事業

- ① 公園資源を活用した体験会、ライトアップ及び花苗の無料配布等による緑化の推進、普及指導

場 所	事 業 名
あづま	あづまバラ愛好会の活動（再掲）
	みどりのボランティアの活動
	みどりのサポーターの活動
	あづま「香りのバラ園まつり」
	緑と花のあふれるまちづくり連携事業（再掲）
	あづま香りのバラ園まつり花苗無料配布
	ボランティアとの協働による公園づくり（再掲）
	サクラ光のファンタジー
	イチョウ光のプロムナード
	あづま冬のフォトスポット
空 港	花のおもてなし（再掲）
	空港公園で農体験～野菜づくりを楽しむ～（再掲）
	グリーンカーテン事業
	空港公園桜まつり（再掲）
	桜を観る会（再掲）
逢 瀬、 センター	みどりの日花苗の無料配布
	樹木調査と樹木台帳及び樹名板の整備（再掲）
	公園のみどり資源を活用した各種展示
	芝刈りで大地に描こう！体験会（芝刈り体験）
	サボテン園ガイドツアー（再掲）
民家園	植物見頃情報板及び花図鑑の設置
	山野草めぐり体験（再掲）

場 所	事 業 名
民家園	縁側の山野草展・即売会
	水芭蕉やクマガイソウの増殖による新たな名所づくり

- ② 緑化に関する知識の向上を目的とした、家庭園芸の基礎を学ぶ各種教室や自然とふれあう体験教室の開催

場 所	イベント名
あづま	みどりの学び場（再掲）
	子どもみどりの遊び場（再掲）
空 港	花とみどりの教室（再掲）
	ハーブ教室（新規）
	樹木ハカセになろう（新規）
	自然塾（再掲）
	樹木医が教える庭木の健康管理
逢 瀬、 センター	みどりの総合講座
	ハーブ園を活用した企画（ハーブ教室）（再掲）
	四季を通してバラとふれあう講座
	きのこを通して森を学ぶ展示室の運営と講座
	公園で自然環境を学ぶ教室・体験会

2) 職員が有する能力及び資格を活用した緑の普及指導事業

緑の専門分野の知識・能力を活用したガーデニング教室、園芸教室等を開催し、緑の普及啓発を図る。

場 所	事 業 名
あづま	みどりの学び場（再掲）
	子どもみどりの遊び場（再掲）
	あづま「みどりの相談窓口」の開設
空 港	花とみどりの教室（再掲）

場 所	事 業 名
空 港	空港公園みどりの楽校（再掲）
	ハーブ教室（新規）（再掲）
	樹木ハカセになろう（新規）（再掲）
	桜を観る会（再掲）
逢 瀬、 センター	芝刈りで大地に描こう！体験会（芝刈り体験）（再掲）
	みどりの総合講座（再掲）
	サボテン園ガイドツアー（再掲）
	みどりの相談室

3) 情報収集事業

関係団体等からの情報収集

(2) 緑化推進の調査研究事業

【あづま、空港、逢瀬、センター】

1) リサイクル事業

剪定枝・除間伐材のチップーによる減容化及び堆肥化、落ち葉などの分別収集と腐葉土化による再利用を行う。

【あづま】

2) 園内発生材等のリサイクル事業【新規】

特にあづま総合運動公園においては剪定枝、枯損木、落ち葉等の発生量が多いことからリサイクル事業を計画的に強化し、再利用を推進していく。

3) 公園みどり守事業

あづま総合運動公園のシンボリックな樹木であるケヤキやサクラとイチョウ並木を中心に、衰退した樹木の樹勢回復を計画的に行う。

【逢瀬、センター】

4) 樹木の樹勢回復への取り組み

衰退した樹木の樹勢回復（剪定、土壌改良）を行う。

- 5 その他、この法人の目的を達成するために必要な事業【収益事業】
- (1) 都市公園の管理運営のうち、興行に類するものへの貸出に関する事業
プロスポーツの興行及びコンサート等への施設貸出
- (2) 緑化の推進に関する樹木等調査、緑地造成及び緑地管理の受託事業
- 1) 緑化の推進に関する樹木等調査事業
街路樹、緑の文化財等の樹勢診断調査及び治療処方箋作成
- 2) 緑地の造成及び緑地管理事業
- ① 各種緑地の調査、設計、監理業務
- ② 指定天然記念物や緑の文化財の調査診断、保全対策の設計、施工
- ③ 福島県立医科大学の緑地管理
- (3) 利用者への利便性供与を目的とする物品販売等に関する事業
- 【あづま、空港、センター】
- 1) 売店等の設置
利用者等の利便性向上を図るため、レストラン、常設売店及び各種大会開催における臨時売店を設置
- 2) 自動販売機の設置
利用者等の利便性向上を図るため、飲料水等の自動販売機を設置
- 【あづま、空港】
- 3) スポーツ用品の販売・貸出